

APEC



女性と経済フォーラム2018

1



2018年9月
内閣府男女共同参画局

APECとは

2

➤ APEC (Asia-Pacific Economic Cooperation) (アジア太平洋経済協力)はアジア太平洋地域の21の国と地域が参加する経済協力の枠組み。

※参加エコノミー: オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、中国、中国香港、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、パプアニューギニア、ペルー、フィリピン、ロシア、シンガポール、チャイニーズ・タイペイ、タイ、アメリカ、ベトナム

※世界全体のGDPの約6割、世界全体の貿易量の約5割及び世界人口の約4割を占め、アジア太平洋地域の持続可能な成長と繁栄に向けて、貿易・投資の自由化、ビジネスの円滑化、経済・技術協力等の活動を行っている。

APEC女性と経済フォーラムとは

3

- APEC女性と経済フォーラム(WEF)は、APEC地域の経済発展のためには、女性の新たな経済機会の創出が不可欠であるとの認識の下、女性と経済に関する閣僚と民間参加者が一堂に会する会合。
- 1996年に女性リーダーズネットワーク(WLN)会合が開催されて以降、毎年開催されている。2011年の米国開催から「APEC女性と経済フォーラム」と名称を変えて開催。
- 本年は9月3日(月)から7日(金)まで、パプアニューギニア・ポートモレスビーで開催。

※次年の会合はチリで開催予定。

APEC女性と経済フォーラム2018

4

<プログラム>

- 9月3日(月) } 女性と経済に関する政策パートナーシップ会合
- 9月4日(火) } (PPWE)
- 9月5日(水) サイドイベント(女性起業家表彰イベント等)
- 9月6日(木) 女性と経済に関する官民対話(PPDWE)
- 9月7日(金) 女性と経済に関するハイレベル政策対話(HLPD)
チリとの会談、米国との会談

<日本からの参加者>

- 田中 良生 内閣府副大臣
- 林 文子 横浜市長



田中 良生 内閣府副大臣



林 文子 横浜市長

会合のテーマ

5

- 「デジタル時代に女性と少女が前進する機会をつかむために
(Seizing Opportunities for Women and Girls to Advance in the Digital Age)」を
メインテーマとし、4つのサブテーマのもと議論。

【サブテーマ】

- (1) 女性のデジタル経済への参加促進
- (2) あらゆる分野における成長促進としてのジェンダー包摂と
エンパワーメント
- (3) リーダーシップ
- (4) パートナーシップの構築と格差の縮小

女性と経済に関する政策パートナーシップ (9/3・4)

PPWE: Policy Partnership on Women and the Economy

6

個別行動計画に関する各エコノミーの取組の発表、PPWE戦略計画及び女性と経済フォーラム声明案の議論などが行われた。

- APECにおいて実施している日本プロジェクト「2020年までに管理職に占める女性の割合を高めるための個別行動計画」(外務省)に関して、第4次男女共同参画基本計画で定めた数値目標や政治分野における男女共同参画を目指す法律など、日本の個別行動計画(IAP)の取組状況を報告。
- また、「女性と経済サブファンド」(経産省)について発表を行った。



日本の発表

サイドイベント APEC BEST AWARD(9/5)

APEC Business Efficiency and Success Target Award

7

APEC域内における女性の起業の発展に対するメディア、実業界及び官界の関心を高めること等を目的とした女性起業家表彰イベント

- 林横浜市長が、横浜市の女性起業家支援の取組を含めて、オープニングスピーチ。
- 株式会社成美の岩切知美氏がプレゼンテーションに参加し、Highest Growth Potential賞を受賞。

岩切知美氏 (株)成美 代表取締役

- 地元食材を活かした食べるスープ「豊後おがたん鶏汁」、「Soup Kitchen Oita」、ジビエ料理「おおいたジビエ ソバージュ」など、郷土料理や地元素材を使った加工食品を開発・製造・販売。
- 大分の素材と食の文化を広く発信し、地域の活盛と笑顔に繋がるために事業展開中。



オープニングスピーチを行う林横浜市長



プレゼンをする岩切氏



「Highest Growth Potential賞」を受賞！

女性と経済に関する官民対話(9/6)

PPDWE: Public-Private Dialogue on Women and the Economy

8

官、民、学識経験者などから女性リーダー等が参加し、サブテーマに沿って活発な議論が行われた。

- 林横浜市長が、IoTの活用や女性リーダーの育成・登用における横浜の取組を中心に、基調講演を行った。
- ビジネス界、産業界、政府、若手の女性リーダーらが登壇し、4つのテーマごとにパネルセッションが行われた。



林横浜市長による基調講演



パネルセッションの様子(APEC公式サイトより引用)

女性と経済に関するハイレベル政策対話(9/7)

HLPD: High Level Policy Dialogue on Women and the Economy

9

最終日には、閣僚級による政策対話が行われた。

➤ 田中副大臣のスピーチ

働き方改革を通じたジェンダー包摂とエンパワーメントや、政治分野男女共同参画推進法の成立、女性がデジタル経済に参加し利益を享受することの重要性、STEM分野への女性の参画促進の取組などについてスピーチを行った。なお、冒頭に、9月に発生した台風21号や北海道東部地震に対するお見舞いの言葉に御礼を述べるとともに、防災分野における男女共同参画の取組を紹介した。

➤ 渡邊大臣官房審議官のスピーチ

女性役員登用に向けた研修や各企業による女性活躍状況の公表など指導的地位の女性を増やす取組の説明、APECで日本が実施しているプロジェクトの紹介、来年3月にW20とWAW!を合同開催することなど日本の国際的取組の説明を行った。



田中副大臣による
スピーチ



会議の様子

声明の採択

10

会合の最後に、フォーラムの成果である「声明：デジタル時代に女性と少女が前進する機会をつかむために」が採択された。

➤ 声明のポイント

- デジタル経済への参加促進によって、女性がグローバル経済に参加する機会を創出すべく取り組むよう、各エコノミーに要請。（技能習得、STEAM分野の能力開発、デジタルディバイドの縮小等）
- 女性活躍を可能にする要因として、働きがいのある人間らしい雇用、教育、健康の重要性を強調し女性が働く業界・分野別のアプローチを推進するよう努める。
- 指導的地位にある女性の数が増えていることは喜ばしいが、男女同等を実現するためには、指導的地位にある男性へ働きかけ、あらゆる分野でジェンダー平等を実現する意欲を持たせるべき。
- ジェンダー平等を完全に実現する上で男性が重要な役割を果たすことと、民間部門の関与とパートナーシップを適宜確保することを強調。

➤ この声明は、11月のAPEC首脳会議に提出。

共同記者会見の様子



参加エコノミーとの会談①

チリのマリア・メリノ男女共同参画副大臣(9/7)

11

- 田中副大臣から、働き方改革や政治分野における男女共同参画、指導的地位に占める女性の割合目標など日本の取組について説明し、来年チリAPECに対する期待を述べた。
- メリノ副大臣から、来年のチリAPECでは3つの優先課題があり、その1つが「女性と経済成長」であることや、日本の参加を楽しみにしているとの話があった。また、政治分野における女性活躍に関するチリの取組について、各政党の女性候補者を40%以上とすることを定めるとともに、女性候補者の割合が高い政党に対しては、より多くの政党助成金が支給されることになっており、その増額分の使途は女性候補者育成のための研修等に制限されていることの説明があった。



会談の様子



田中副大臣と
メリノ副大臣

参加エコノミーとの会談②

米国・国務省国際開発庁のミシェル・ベッカーリング審議官(9/7)

12

- ▶ 田中副大臣から、女性がデジタル経済に参加することは経済成長のエンジンとなることや、働き方改革や政治分野における男女共同参画など日本の取組について説明した。
- ▶ ベッカーリング審議官から、来年日本で開催するW20に言及があったほか、同一労働同一賃金など日本の進捗に関する質問があった。賃金格差の縮小やSTEM関連の取組を、ベストプラクティスとしてAPEC内で共有してほしい、また、来年チリが開催するSTEM関連のワークショップに協力してほしいとの話があった。



会談の様子



田中副大臣とベッカーリング審議官